

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【公表番号】特表2007-537371(P2007-537371A)

【公表日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-049

【出願番号】特願2007-513210(P2007-513210)

【国際特許分類】

D 21 F 7/10 (2006.01)

【F I】

D 21 F 7/10

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年11月7日(2011.11.7)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0032

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0032】

本発明の他の態様に含まれるのは、布中の糸が、CDとMDに関しての少し角度を有し；そして、それによって、解れた領域の縁部に沿ったCD中で除去された糸のうちの一部は、布の全幅にわたって伸びず、CDに完全な糸と小さな断片の糸を残し、もしそれらが継ぎ目ループ領域へ移動するなら問題となるような態様である。布は、布の幅未満である幅を有する織ってある細長い布から形成され、細長い布は2つの側面縁部を備えた多層織りの形態であり；細長い布が、布を形成するために連続的な螺旋状の方法で周りを巻かれる際、側面縁部は、螺旋状の継ぎ目を形成するために、お互いに隣接したり、重なりあつたりするような形態をとる。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

布は好ましくは、機械上で継ぎ合わせ可能な、抄紙布の圧搾部用の多軸圧搾布である本発明のまだ異なる様相を含んでいる。短纖維綿材料の少なくとも1層は布へ針打ちされてよい。糸のうち少なくとも一部は、ポリアミド、ポリエステル、ポリブチレンテレフタレート(PBT)又は抄紙布生産で糸を形成するために一般に使用される他の樹脂のうちの1つであってもよい。糸のうちいかなる糸が、円形断面形状、方形断面形状又は非円形断面形状を有するものであってもよい。